

令和元年5月から昨年5月までの約1年間、第70代岡山県議会議長の任を無事終了することができました。ひとえに皆様のおかげさまであり、心からの感謝の念を表すところでもあります。この1年間は県議会議員全55名を代表するという重責の連続でした。自分一人の責任で背負えるものとは違い、破格のプレッシャーを感じる日々でした。

その中で12月には、初めてともいえる岡山県議会主催の「高校生議会」を開催致しました。既に多くの県や市でも開催しておりますが、20校127名もの多くの高校生の参加者や県議が答弁をするという点で全国初でした。その結果、全国各地よりさまざまな反響が寄せられ、関係機関も含め高い評価をいただいております。

この高校生議会で得たものは、半年以上にわたる議会事務局職員の皆様のご尽力と、執行部としていつもとは逆の立場でご答弁をして頂いた各常任委員長の皆様、また生徒の質問や引率をいただいた各学校の先生方、そして何よりも身近で真摯な質問をして頂いた生徒の皆さんのすばらしさでした。議会全体がこれほど一丸となって一つの事に取り組めたことは、これまでなかったのではないかと自画自賛をしております。本年はコロナ禍にさいなまれ開催できませんでしたが、来年はWebでのオンライン開催も視野に、開催に向けて一議員として努力していきたいと思います。ご関係いただきましたすべての皆様に心から最大の感謝を申し上げます。



●令和元年11月28日 岡山県議会定例会



●令和元年12月17日 岡山県高校生議会



2021年

岡山県のしっかりやらんといけんこと!

@yasushihasuoka (はずおかやすし) みてねー!!

ホームページもご覧ください。

平成30年7月豪雨からの復旧・復興に向けて

未だに仮設住宅に約1,600名の方が入居されている中、早急に対策を進めていく必要があります。ハード面では、小田川3支川(末政川、高馬川、真谷川)の堤防強化や、バックウォーター現象の影響を低減する小田川合流点の付け替え工事(高梁川との合流点を約4.6キロ下流に移動)も、南山の掘削など順調に進んでおり、10年の工期を半減し2023(令和5)年度の完工を目標に進行中です。



児島地区 小田川・下村川の治水対策

平成29年台風18号に伴う降雨により、再度、浸水被害が発生したことを受け、治水対策として、上流部は実績水位に基づく護岸高上げ、下流部は、高潮計画に基づく護岸高上げを計画し、現在、上流部から順次、護岸高上げ工事を実施。なお、平成27年度から、河川整備基本方針の策定を前提とした治水計画の基礎検討に着手しており、河道改修だけでなく、流域治水の考え方(ため池を活用した洪水調節等)を取り入れ、河道配分流量を減らす手法を検討中。今年度は大正橋上流付近の浚渫を施工しました。



- 【事業概要】 事業期間:平成30年度～令和6年度 総事業費:約3億円
 【事業内訳】 ●洪水対策(H30～R4)
 護岸高さ:H29台風18号の実績降雨による再現水位
 小田川・・・[左岸]約1,400m、[右岸]約1,650m(R1年度迄58%完了)
 下村川・・・[左岸]約500m、[右岸]約400m(R1年度完了)
 ●高潮対策(R5～R6)
 護岸高さ:TP+3.15m(岡山沿岸海岸保全基本計画<H26.3改訂>
 小田川・・・[左岸]約700m、[右岸]約700m
 下村川・・・[左岸]約700m、[右岸]約600m

新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスの第3波の流行で本県の感染者も急増し、病床使用率も高止まりしています。一方、感染拡大防止と同時に社会経済活動への対策も図らなければなりません。県では先進的な事業として、インフルエンザが流行する冬期の医療機関負担軽減策として、12歳以下へのワクチンの無料接種を実施。さらに今後は、行政手続きのデジタル化や、テレワーク・オンライン授業の推進など、長期的視野に立った施策も必要と考えています。



学テ順位偏重主義から成果主義へ!

これまで色々と議論のあった全国学力テストの順位目標を、令和3年度からは小中とも「平均正答率を全国平均より1ポイント上回る」に変更しました。当然、これで学力向上に力を入れなくてもよいのではなく、より詳しく科学的に分析し、個別の対応を考えていこうとするもので、教育現場ではさらに緻密な対応が求められます。重要なのは、詳細な分析結果を市町村教委にしっかりと説明し、がんばってもらうこと。県教委の腕の見せ所です。



今こそヤングケアラー対策を!

家族の介護を担わざるをえない18歳未満の子ども・若者の増加が問題視されています。自らの責任ではなく、やむなく家族を介護しなければならぬ状況の中では、周囲から孤立しやすく、勉強の時間もままならず、進路も左右されかねません。国も事態の深刻さを理解し、今年度末までに全国調査を行う方針ですが、県議会でも議論を深め、県内の実態調査をしっかりと行うように提案し、早急にその支援強化を進めていきたいと思っております。



児童虐待 県内5年連続増加 対策急務!

県内には中央、倉敷、津山、岡山市の4か所の児童相談所がありますが、さらに多くの目を光らせるために、市町村にも同様の機能をもつ拠点が必要です。現在倉敷市など4市1町では設置済みですが「市町村子ども家庭総合支援拠点」の設置が急がれます。(※子どもとその家庭の実情把握から専門的な相談対応や調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務までを行う機能を担う。令和3年度井原市など3市1町、令和4年度12の市町村が設置予定)虐待は見ていても通報義務があります。通報は匿名でもでき、また秘密は守られます。あなたの一報が、子どもたちを救うきっかけになるかもしれません。児童相談所虐待対応ダイヤル☎189(いちいはやく)へ通報してください!



学習用PC購入の負担緩和制度の創設

国のGIGAスクール構想により、令和3年度の県立高等学校入学生等から順次、各学校が指定する端末を購入いただく予定です。オンライン学習にもスムーズに対応可能になるなどメリットも大きい一方で、1台6～7万円することから、家計負担は非常に重くなります。現在、経済的な事情のある生徒に対するPC貸与制度や、分割購入の創設など、緩和するための制度の導入を教育委員会に働きかけています。課題山積の分野ですので、引き続き注視してまいります。



令和2年度11月補正予算案(コロナ関連)

今後の新型コロナウイルスの感染拡大に備えた医療体制の整備に要する経費を中心に編成。総額304億2,077万円で、その財源は国庫支出金303億7,747万円、繰入金4,330万円。これにより、これまでのコロナ関連予算としては令和元年度分6億1,846万円、令和2年度分883億3,546万円で、これまでに総額889億5,392万円を充当。項目別で見ると、感染拡大防止策と医療提供体制の整備に539億6,240万円、地域経済の維持と事業の継続のための支援として349億9,152万円。



令和3年度当初予算編成案について

2021年度の予算は新型コロナによる大幅な税収減を見越し20年度当初比で最大10%の削減基準を設定。厳しい財政運営が必至です。とは言え、真備の復興復旧や、必要不可欠な分野には積極姿勢が重要。今年はオリンピック・パラリンピックも予定されており、さらに岡山県では秋の全国スポーツマスターズ、そして2024年には全国植樹祭の開催も決まっています。元気な活力ある岡山県の姿勢も期待されています。上を向いて歩こう、岡山県!



高病原性鳥インフルエンザ

香川県等で発生していた高病原性鳥インフルエンザですが12/11岡山県美作市の養鶏場においても発生。知事をはじめ県職員の皆さん方が細心の注意を払って予防に当たっていましたが、このコロナ禍で二重の苦難となりました。しかしながら陸上自衛隊をはじめ関係機関のご協力を頂き、14日には殺処分が完了しました。今後も速やかに防疫措置等を完了させ、移動制限の解除に向けて全力対応することです。作業の安全と1日も早い収束を願うばかりです。



おかやま縁結びネットの推進

少子高齢化、人口減少への対策とともに、結婚を希望していても出会いの機会のない方たちへのより手厚い支援・サポートが求められています。県では「おかやま出会い・結婚サポートセンター」を開設し、会員制の「おかやま縁結びネット」でのマッチングや交流会などを実施。これまでに2,000名が入会、115組の新しいご夫婦が誕生しています。今後もより多くの人へ出会いの場を提供していきけるよう、取り組みを進めていかなければなりません。

